

ID・パスワードの取り扱いについて

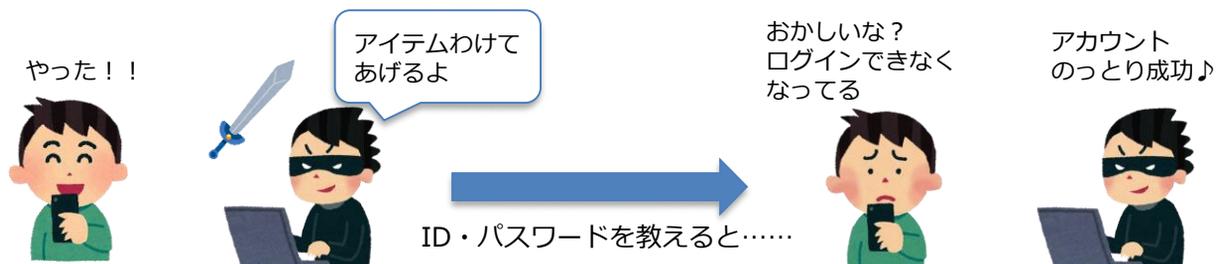
ID・パスワードは、インターネットサービスの主要な個人認証手段です。子どもたちに人気のSNSやゲームなどのサービスでも、ID・パスワードが必要なものが多くあります。

ID・パスワードは他人に知られてしまうと、アカウントをのっとられて悪用されてしまうこともあります。そうした事態を防ぐためには、ID・パスワードの正しい取り扱い方を身につけておくことが必要です。

自分のID・パスワードを他人に教えてしまう子どもたち

子どもたちは自分のID・パスワードを、インターネット上で知り合った人などに教えてしまうことがあります。

例えば、ゲームを通じて知り合った人から、「アイテムやポイントをわけてあげるから、IDとパスワードを教えて」と言われて、素直に応じてしまう子どもたちがいるのです。



ID・パスワードを推測されることも

子どもたちが自分のID・パスワードを他人に知られてしまうケースとしては、簡易なID・パスワードを設定していて、それを推測されてしまうというものもあげられます。

例えば、以下のようなID・パスワードを設定していると、他人から推測される危険性が高くなります。

- ・名前や誕生日、電話番号、ペットの名前など個人に関するもの
- ・6文字以下の短いもの
- ・連番や連続の英数字(0000、12345、abcdefgなど)
- ・パソコンのキーボードの配列の一部(0okm、123qweなど)



ID・パスワードの適切な取り扱い方

自分のID・パスワードは絶対に他人には教えない、複数のサービスで同じID・パスワードを使いまわさないことをこころがけ、以下のようなルールにしたがって、他人から推測されにくいID・パスワードを設定するよう、子どもたちに指導していくことが必要です。

- ・個人に関する情報を入れないようにする
- ・8文字以上にする
- ・大小の文字、数字、記号を組み合わせる